

第74回 岐阜県高等学校総合体育大会 ソフトテニス競技

競技上の注意

- (1) ゲームは日本ソフトテニス連盟のルールブックに則り、7ゲームマッチで行います。
- (2) ベンチは組み合わせの小さい番号が、男子はスタンド側、女子は北側（山側）になります。
- (3) ベンチ及び応援席での日傘の使用を認めますが、プレーに支障をきたす（光の反射をする）銀色等の光る傘は禁止します。
- (4) 別紙「進行表」を確認し、円滑な進行に協力してください。
- (5) コート以外でのラケットを使った練習及び駐車場でのアップは禁止とします。
- (6) ボールホルダーにお守り等をつけることは認められていません。
- (7) 勝者は試合後速やかにスコアシートを本部に提出してください。
- (8) 貴重品やゴミの管理を各学校で徹底してください。
- (9) 応援者が両サイドに分かれることができない場合は、片側を半分ずつ分け合ってください。
- (10) 連続プレーできるような応援や、相手を不快にさせない応援をしてください。
- (11) ビデオ撮影は原則許可します。ネットに投稿する場合は相手校に許可を得てください。
- (12) 審判台に「ストップウォッチ」と「電子ホイッスル」を用意してあります。チェンジサイズ時は40秒でホイッスルを「ピー」と長めに1回鳴らしてください。さらに50秒で2回鳴らしてください。それでも移動しない場合は「レッツプレイ」のコールとともに、イエローカードを躊躇なく提示してください。ポイント間が60秒以内でなければならないので、移動後にペアで話さないでください。
- (13) ポイント間のペアの打ち合わせもレッツプレイの対象です。
- (14) ゼッケンを必ず着用してください。四隅を必ずとめてください。
- (15) 試合中のコート外からの飲み物、用具の持ち込みを本部の許可を得れば認めます。
- (16) 試合中に治療が必要な場合は本部の許可を得ればコート外の選手及び、指導者の治療を認めます。
- (17) 上位大会への出場条件は次の通りです。

	団体戦	個人戦
インターハイ	優勝校のみ	ベスト6以上
東海総体	ベスト4以上	ベスト16以上

- (18) コイントスでのトスの方法について

正審、副審は両者とも審判台側で並び、マッチ開始前の挨拶を行う。

挨拶が終了したら副審はコインのA、Bの両面をプレーヤーに見せる。

コインのA面が出た場合は、審判から見て右側のプレーヤーが

コインのB面が出た場合は、審判から見て左側のプレーヤーがトスの勝者になると確認する。

副審は指で弾くなどしてその場でコインを投げてコート上へ落とす。

先取権を得た方は「サービスあるいはレシーブのいずれか」または「サイド」の選択をする。もう一方のプレーヤーは、先取権を得た方が選ばなかったものの選択権を得る。

団体戦諸注意

- (1) 練習割当については別紙「R8 練習割当・注意事項」をご覧ください。
- (2) 進行表および進行状況をよく確認し、前の対戦が終わったら速やかにコートに入ってください。
- (3) 各コートの初戦審判の割当は別紙「進行表」を確認してください。以降は敗者審判となります。
- (4) どちらかの学校が初戦の場合は3対戦とも行います。2回戦以降は2点先取とします。なお、2ペアでの出場校の対戦の場合、3対戦目は行いません。
- (5) 第3シード決定戦を実施します。
- (6) 団体戦の最初の挨拶から第1対戦開始の挨拶までは1分以内とします。
- (7) 試合前のトスについては、団体戦の挨拶時ではなく、各対戦の試合開始毎に実施してください。
- (8) 監督者は、大会中1名のみで（大会途中に交代できません）、本部から配付されるIDカードを必ず見えるところに着用してください。監督者以外がアドバイスすることの無いようにしてください（イエローカードに該当します）。
- (9) 2面展開時には監督イス（私物ベンチ可）を動かしてもかまいません。
- (10) 出場する選手（コート内へのベンチ入り選手も同様）は、申込用紙に記載されている選手とします。変更があれば受付時に「様式11選手変更届（当日提出用）」を提出してください。後日「様式12選手変更届（後日提出用）」に公印を押印の上、PDFファイルにして専門委員長にメールしてください。

個人戦諸注意

- (1) 練習割当については別紙「R8 練習割当・注意事項」をご覧ください。
- (2) 進行表および進行状況をよく確認し、前の対戦が終わったら速やかにコートに入ってください。
- (3) 各コートの初戦審判の割当は別紙「進行表」を確認してください。各コート2試合日以降は敗者審判となります。ただし、敗者が自校の試合の審判を行うことになった場合は相互審判を認めますので、必要があれば本部まで申し出てください。なお、敗者は原則正審とします。
- (4) 準々決勝で敗退したペアで、5、6位決定戦を行います。組み合わせは抽選により決定し、審判は大会役員で行います。本戦の敗者審判と5、6位決定戦の試合が重なった場合については、各学校で代理審判を出してください。
- (5) ベンチ入り指導者は、個人出場ペア数以下で上限4名までとします。本部から配付されるIDカードを必ず見えるところに着用してください。ベンチ入り指導者以外がアドバイスすることの無いようにしてください（イエローカードに該当します）。試合ごとにベンチ入り指導者が代わってもかまいません。
- (6) 出場する選手は、申込用紙に記載されている選手とします。変更があれば受付時に「様式11選手変更届（当日提出用）」を提出してください。後日「様式12選手変更届（後日提出用）」に公印を押印の上、PDFファイルにして専門委員長にメールしてください。